



# アイデア学院

IDEA GAKUIN

## 2024 年度版

# 夏期講習 授業計画のお知らせ

梅雨とは名ばかりの暑い日差しが続く毎日に、早くも夏の足音が聞こえるような毎日が続いています。中学三年生にとっては受験に向けた、中学一、二年生にとってもこれまでの振り返りと、新学期に向けた準備のための、小学生にとってはこれまでの内容を忘れず、中学生になるために必要な経験を積むための、それぞれにとって非常に重要な意味を持った夏は、もう間もなくやってきます。準備は万全でしょうか。

アイデア学院では一人一人が充実した夏を過ごし、新学期を気持ちよく迎えていただくため、今年も夏期講習を実施いたします。前期後期通じて、アイデア学院が生徒の皆さんにどのような授業を行っていくのか、本紙にてご紹介させていただきます。



## ～学年ごと夏期講習 授業内容概要～

### 《小学部》

常に今後を意識した予習形式の授業を中心に、学習習慣の確立を目指していきます。

テストに必要な学力のみならず、豊かな考察力や想像力を養うための汎用的な知識に触れてもらうことも目標の一つとしています。

#### 英語

上級：中学文法予習、英検対策用単語  
中級：文の構成、一学期の復習  
初級：フォニックスを使用した単語演習

#### 算数

6年：一学期の復習、『円の面積』  
5年：一学期の復習、『分数の足し算引き算』  
4年：『割り算』、『計算の順序』

#### 国語

※東越谷校舎のみ

初見の物語文や、記述、作文等にたくさん触れることを通して、教科書内容だけでは補うことのできない豊かな表現力を養うことを目標としていきます。

## 《中学1年生》

一年生時での学習はどの教科においても、これからの学習内容につながる非常に重要な基礎事項となります。

イデア学院の夏期講習ではこれまでの復習を行って次の学習内容への準備を盤石なものとしたうえで二学期の予習も行うことで、学校の授業における苦痛を取り除きます。

### 英語

- ◎ 1学期の復習（単語・文法）
- ◎ 三単現・読解問題の練習

### 数学

- ◎ 1学期の復習（文字を使った四則まで）
- ◎ 方程式の計算

### 国語

- ◎ 『大人になれなかった弟たち』の先行授業
- ◎ 文章問題を使用した読解演習

### 理科

- ◎ 身のまわりの物質の復習
- ◎ 身のまわりの現象

### 社会

- ◎ 地理：世界の州
- ◎ 歴史：縄文時代～平安時代



## 《中学2年生》

新学期に向けた予習を中心に、これからの学習内容につながる分野の復習を実施します。

学習内容もさることながら、何よりどうしてもうまくいかないことも多い夏休み期間の学習におきまして、学習を毎日繰り返すことで学習習慣を確立させることを目標としています。

### 英語

- ◎ 1学期の復習（単語と文法）
- ◎ 比較級・読解練習

### 数学

- ◎ 1学期の復習（計算練習）
- ◎ 1次関数（比例の復習も）

### 国語

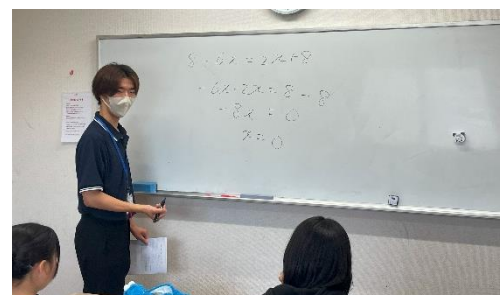
- ◎ 『盆土産』の先行授業
- ◎ 文章問題を使用した読解演習

### 理科

- ◎ 化学の復習
- ◎ 物理：電流・電圧・抵抗の計算方法

### 社会

- ◎ 地理：九州地方～近畿地方
- ◎ 歴史：江戸時代～



# 《中学3年生》

受験のため、九月の北辰テストを意識した受験勉強をメインに実施します。

夏休み明けの北辰テストでは中学一、二年生の内容が出題されるため、復習を中心に、この夏でこれまでの内容を完全におさらいしてもらいます。

また、勉強に取り組むための体力をつけることも目標とし、三年生は本講習すべてを通して約 100 時間の授業を行う予定です。この夏で勉強の習慣を身に付け、受験に向けての土台作りをしていきます。

## 英語

- ◎ 単語力・リスニング力の強化
- ◎ 北辰に対応するための読解力の強化

## 理科

- ◎ 中1・2で学んだ事の総復習
- ◎ 演習問題での北辰対策

## 数学

- ◎ 大問1を満点にするための復習
- ◎ 北辰テストの難しい問題への対応力

## 社会

- ◎ 歴史・地理総復習
- ◎ グラフの読み取り～演習問題

## 国語

- ◎ 問題集を扱った古文対策
- ◎ 長文問題を使用した読解演習
- ◎ 文法演習



## ★集中ゼミ（3日間）

## （教科:英語、数学、理科、社会）

アイデア学院では3年生に限り、お盆休みに集中ゼミを実施しています。集中ゼミでは、1日に実施する教科を2教科までとし、午前中と午後で1教科ずつを集中的に学習してもらいます。通常授業と比較して長い時間ひとつのことに向き合う時間を通じて、分野ごとの理解度を飛躍的に向上させることを目標としています。さらに、ほとんどの生徒にとっての課題となるであろう集中力の持続に関しても、改めて見つめなおすきっかけとしてもらえればと考えております。

詳細は別紙の方をご覧ください。

※ここに記載しているのは、計画段階のものです。

実際は予定と異なる場合がありますので、ご了承ください。